

CCBJニュースレター 第92号

2022年1月27日

会員の皆様、

新年おめでとうございます。今年最初のニュースレターをお届けします。

新型コロナウイルス感染症予防に気をつけ、皆様が健康に過ごされますようお祈り申し上げます。依然として警戒が必要な状況が続く中、一刻も早くワクチンの3回目接種が実施されますことを期待しております。

今号では、日本とブラジルの両国によって昨年行われた取り組みや2022年の政治経済、文化面での展望について、外務省の小林麻紀中南米局長にご寄稿いただきました。

ゲデス経済相が2021年のブラジル経済の振り返りと今後の展望について語った動画や、CCBJウエビナー「ブラジル油田のビジネス機会、2021年グローバル投資家調査、ブラジル中央銀行が作成したコンソルシオ制度の解説動画に関する情報も掲載しましたので、ご覧ください。

それではよろしく申し上げます。

CCBJ会頭
行徳セルソ

(寄稿)

「新年の御挨拶」

外務省

小林麻紀中南米局長

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

この一年の在日ブラジル商工会議所の皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

新型コロナの世界的拡大から三年目に入り、未だ様々な制約が続く中で新年を迎えることとなりました。昨年はいくつもの制約の中でも日伯間の様々な対話・協力を進めることができました。政府間では、1月に茂木外務大臣（当時）がブラジルを訪問してボルソナーロ大統領を表敬、アラウージョ外務大臣（当時）と会談、10月には次官級政策対話を東京で行い、12月には林外務大臣がフランサ外務大臣と電話会談を行いました。法の支配に基づく自由で開かれた国際秩序の維持強化、ポストコロナに向けた経済活性化、気候変動や軍縮不拡散といった国際社会の課題対応への協力等につき幅広く議論がなされました。オリンピック・パラリンピック期間中にはローマ市民大臣とマガリエンス・スポーツ大臣が訪日され、ブラジル選手団がオリンピックでブラジル史上最多の21個、パラリンピックでも史上最多タイの72個のメダル

を獲得した姿に日本国民も大いに感銘を受け、勇気づけられました。

また、「日伯戦略的経済パートナーシップ賢人会議」や「日ブラジル経済合同委員会」がオンライン開催され、デジタル社会の進展、経済活動と気候変動対応との好循環、食料・エネルギー安全保障を重視した貿易投資の拡大等に連携してとり組む決意なども確認されました。

このコロナ禍にて改めて、直に会い、協議の合間に個人的親交を深めること、現地を見てその空気に触れることの大事さを痛感させられました。同時に、この難局があったからこそオンラインやハイブリッド形式の会議が対面に近い雰囲気の中で実施できる工夫が広がり、より頻繁に、また簡易に意見交換できる選択肢も増えました。

ポストコロナの世界は、その意味でも失われた時を埋める以上の、新たな活力を吹き込むものとなると期待しています。また、そうした期待を実現していく施策を進めていかねばなりません。これまでの政治、経済、科学技術、文化等裾野の広い強固な友好協力関係を一層強化し、共に発展、共に啓発、共にイニシアティブをとっていけるよう、皆様のお力も拝借していきたいと思えます。

本年ブラジルは独立200周年、益々の飛躍の年を迎えます。世界情勢も様々な課題は山積ですが、「戦略的グローバルパートナー」である日伯が一層緊密に協力していける年としたいと考えます。

在日ブラジル商工会議所の皆様方には、二国間の経済関係の緊密化のみならず、ブラジルフェスティバルをはじめとし

た市民レベルでの交流にも多大な貢献を頂いており、改めて深く感謝申し上げます。最後に、皆様のご多幸と一層のご繁栄を心から祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

ブラジル中銀 動画で「コンソルシオ」制度を解説

ブラジル中央銀行は、住宅や自動車の購入方式の一種である「コンソルシオ」制度を解説した動画を公開しています。コンソルシオは共同購入方式の一種で、複数の参加者が掛け金を出し合うセルフファイナンスシステムです。

詳細はこちら：<https://www.youtube.com/watch?v=YAsBZMmwu3c>

出所：ブラジル中央銀行

ブラジル経済の展望

ブラジルのゲデス経済相は、2021年はターニングポイントの年となったと評価しています。雇用創出やサービスのデジタル化、ビジネス環境の改善、小規模企業向け融資の拡大、財政管理、ワクチン確保や新型コロナ対策のための資金放出、減税、貿易円滑化など、経済省はより公正で公平な国づくりを目指し様々な政策を実施しました。2022年以降の経済成長

に向けて、ブラジル政府は総額8220億リアル規模の投資を行う予定です。

動画はこちら：<https://www.youtube.com/watch?v=UDbFDYRIVZQ>

出所：ブラジル連邦政府

2021年グローバル投資家調査

PwCは投資家意識調査の結果を発表しました。調査に参加した世界各国の325名の投資家によると、ESG（環境、社会、企業統治）の重要性が高まる中、企業のESGへの取り組みが投資家の関心の的となっています。

詳細はこちら：<https://www.pwc.com.br/pt/estudos/setores-atividade/financeiro/2022/pesquisa-global-com-investidores-2021.html>

出所：PwC

ウェビナー「ブラジル油田のビジネス機会」のご案内

在日ブラジル商工会議所は「ブラジルの石油分野のビジネス機会」をテーマとするウエビナー(セミナー)を下記の通り開催します。講師に元ペトロbras社サントス海盆生産事業所長・弊商工会議所第2代会頭を務められたコンサルタントのオズワルド川上氏およびPwCアドバイザリーの富田宏氏をお招きし、ブラジル石油開発関連のビジネス機会について解説いただく予定です。

ブラジル投資を検討される企業の方々は、是非ご参加戴きたくご案内いたします。

【記】

日時：2月18日(金) 午前9時-10時(日本時間)

言語：英語

参加費：無料

サイト：Zoomのリンクを後日参加者へお送りします。

【プログラム】

9時 : 開会

9時05分：セルソ行徳在日ブラジル商工会議所会頭挨拶

9時10分：オズワルド川上氏講演

テーマ「ブラジル陸上・海上油田の独占廃止」

9時30分：PwCアドバイザリー富田宏氏講演

テーマ「エネルギーセクターの気候変動活動における日本とブラジル」

9時50分：Q&A

10時 : 終了

ご参加のお申し込みは、次のフォームをご利用ください。

<https://forms.gle/ewHx6GTuVzSWNvxD8>

お申込み締切：2月 15日

ご不明点等ございましたら、以下の連絡先までお気軽にお尋ねください。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

以上